

Summer 2016

甲南英語英米文学会ニュースレター第25号

KEALL NEWSLETTER

The

S P E C I E S

Konan Student Association of the Department of English & American Literature & Language

目次

- | | | |
|----------|---------------------------------------|-----------------------------|
| p. 1 ~ 3 | Ellen C. DuBoisさんの講演報告 | UCLAの教授による女性運動のレクチャー！ |
| p. 4 | How to use global zone? | 新しくできたGlobal Zone Porteの紹介！ |
| p. 5 | Interview with international students | 秋から甲南に来たYIJの留学生2人の紹介 |
| p. 6 | 留学体験談 | 1年留学から春に帰国した武本さんの体験談 |
| p. 7 ~ 8 | FRESHMEN WELCOME PARTY! | 4月の新入生歓迎会のレポート |
| p. 8 | 編集後記 | |

Ellen C. DuBoisさんの講演報告

村上千尋



Ellen C. DuBois
カリフォルニア大学教授

アメリカの政治史に焦点を当てた女性学、婦人参政権運動、フェミニズムについての研究をしている。

2015年9月14日 2限

2015年9月14日、カリフォルニア大学ロサンゼルス校歴史学部教授のエレン・デュボイスさんをお招きしオープンゼミが開かれました。「ユダヤ系アメリカ人女性と家父長制」と題した講義の中で、エレンさんは、自分の体験を踏まえながら、ユダヤ系女性たちの体験や社会・政治的活動についてお話し下さいました。

アメリカには歴史上二つの女性運動の波があったそうです。一つ目は1850年頃から1920年の政治的な平等を求めるもので、二つ目は1968年頃から1980年頃までの経済的平等やしきたりからの解放を求めるものでした。アメリカでは歴史的にアジアおよび東・南ヨー

ロッパ出身の移民の人たちが差別されていました。20世紀のはじめ、特に、ユダヤ人の移民は危険であるとされていました。ロシア革命を経験しており、過激な政治的な考えを持っていたからです。



エマ・ゴールドマンというロシア出身のユダヤ人移民の女性はアナキスト（無政府主義者）で「アメリカで最も危険な女性」と言われていました。ユダヤ人の間でも家父長制が一般的で男女の役割も

区別されていましたが、

男性が家で勉強し女性が働きに出るというものでした。実際、ロシアにいる時からゴールドマンは縫製工として働いていました。また、当時の家父長制のもとでは父が決めた相手と結婚しなければなりませんでした。彼女はこれに反対し、自由な恋愛を求めて姉の住むアメリカへ渡り縫製工となり、後に過激なアナキストとして名を知られるようになったそうです。

当時、アメリカでは家計を担うのは男性の役割で、女性の賃金は男性より大変低く抑えられていたようで、ニューヨークでは女工たちが賃金や労働時間の短縮を求めて頻繁にストライキを行っていました。その中には、家計を担うことになっているユダヤ人女性が多くいました。ストライキをするのは大変なことでしたが、皆の勇気と団結で乗り切ったそうです。中産階級の女性が金銭的なサポー



トをしてくれることもありました。1911年には、トライアングル・シャツウエスト工場で火災が起き、多くの十代の若い女性が亡くなりましたが、その多くはユダヤ系だったと言われています。工場のあるビルの高層階から飛び降りて212人もが亡くなったそうですが、死因の多くは焼死、また飛び降りでありました。女工たちが糸や布を持ち出すと思った工場主が2つの出口の一つに鍵をかけていて、多くの女工たちが逃げ遅れてしまったのだそうです。驚くことに、なす術をもたない警察官たちは飛び降りる女性をただ見ていたのだそうです。皮肉なことに、この事件が女工たちへの社会的同情心を喚起し、女工たち労働運動のサポートに男性の力も加わるようになりました。そして、女性にはできないと思われていた大規模なゼネラルストライキを成功させ、国際女性縫製工組合 (International Ladies Garments Workers Union) という組織を作ったのです。



ユダヤ系女性たちは、アメリカの女性運動の第一波といわれる婦人選挙権運動にも参加しました。中流階級のアメリカ人女性たちの始めた参政権運動に、その多くが労働階級であるユダヤ人女性が参加することで、運動の影響力が増大しました。また、アラバマ州セルマでの行進のようなアフリカ系アメリカ人の始めた公民権運動に影響を受けて第二波の女性解放運動が始まると、ユダヤ系女性は中心的役割を果たすようになったそうです。

父権制について質問が出ると、伝統的なユダヤ人社会では、ユダヤ教の聖典を研究する男性が最も高い社会的地位を有しており、女性たちはそのような男性を支えるために働いていたというお答えでした。また、ゴールドマンの住んでいた19世紀から20世紀初めのロシアにおいては、ユダヤ人は差別されゲットーと呼ばれる地域での生活を強いられており、男性が家の外で働いても達成感を持つことはできない状況だったことにも触れられました。

現在の女性が直面する問題は何かという質問には、4つのことを例に挙げて下さいました。一つ目は中絶を選択する権利です。アメリカでは1973年までは中絶することは罪だったそうです。二つ目はレイプで、昔に比べると減ったけれども今でもあるそうです。三つ目は経済的平等です。女性が働く場が増えたものの男性ほど多くないことが現状で、賃金にもまだ男女間の差があります。最後に政治における女性の立場です。官僚や議員など政界の重要なポス

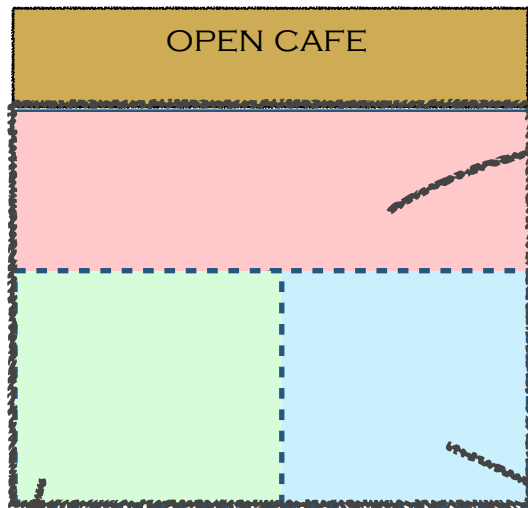
トにまだ多くの女性がないそうで、ヒラリー・クリントンさんの活躍を期待していらっしゃいました。

エレンさんのお話を聞いて、改めて女性が現代に至るまでどのような苦勞をしてきたのか、また現代の問題について考えさせられました。特に、ユダヤ系女性が差別を受けたり火災などで犠牲になった話は、知らなかったことだったのでショックを受けました。彼女たちが勇気を持って行動をしたからこそ、今があるのだと思いました。また、今回の講演からまだまだ取り組むべき問題があることも知りました。エレンさん自身も公民権運動に参加していたころ自分にできることを見つけ努力していたということを知って、私も自分にできることがあれば何かしたいなと思いました。私もエレンさんと同じように、今後ますます女性が政治など様々な分野で活躍していけると良いと思います。(安武ゼミ 4年)



What is Global Zone Porte?

2015年度後期より、これまでのあじさいルームがリニューアルし、『グローバルゾーンポルト』が新しくオープン！ここは様々な国からの留学生と甲南生が集い、楽しく交流を行うことで日本にいながらも学内留学を体験できる新しいスペースです。“Porte”はフランス語で「扉」の意味を持つ言葉で、多くの学生たちがその扉“Porte”を開いて、広い世界とつながって欲しいという願いが込められているそうです。さあ皆さん、新しい扉を開いて異文化を体験してみませんか？グローバルゾーンは下のような配置になっています。使用して良い言語が制限されているゾーンもあり、「英会話をしたい！」という学生にはぴったりです☆さらに、ここでは毎日いろんなイベントが開催されています。ぜひ参加してみてくださいね。



Global Learning Commons

留学生と交流できるスペース。オープンカフェも併設されています。様々なイベントやアクティビティを体験することができます。言語の指定はありません。オープンカフェも併設されています。

Ajisai Room

留学生と交流するエリアです。ここで使って良い言語は『日本語』です。アメリカ・イギリス・オーストラリア・ドイツ・フランス・韓国・台湾etc...からの留学生と交流が出来ます。

KONAN Language

学内留学が体験できるエリア。使って良い言語は外国語(主に英語)です。ここでは毎日楽しいアクティビティが開催されています。

Interview with international students!!

This year, 50 international students came to Konan. Have you spoken to them yet?

We chose two students and asked them some questions!

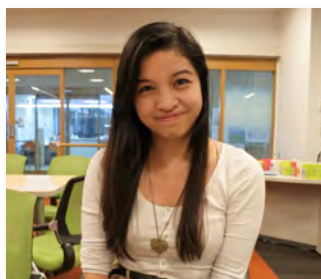
1. What do you like about Japan?
2. Why did you decide to study in Konan?
3. Where is/are your favorite place(s) in Japan?
4. What do you think about Japanese men/women?
5. What do you do on your days off?
6. How long are you going to stay in Japan?



Alexx Santos

Age: 21

School: University of Illinois



1. I like Japanese food and I like how easy it is to get around in Japan because of all the trains.
2. I wanted to study at a school in the Kansai region and a lot of upperclassmen and teachers told me Konan was a good school.
3. Nara or Kobe Harborland.
4. I think Japanese guys tend to dress a lot better than American guys.
5. I usually go shopping with friends or go on dates with my boyfriend.
6. I'll be here until August!

Shane Murdock

Age: 20

School: University at Buffalo



1. Everyone is really nice, the food is really good, and the country is really pretty.
2. It was the only place my home university had besides ICU which didn't seem good.
3. I really like 箕面. It's really close to where I live and it's so pretty!
4. Everyone is very nice and kind and I'm happy I met all of the people I did!
5. Shopping, hanging out with friends, and swimming. I usually go to Osaka.
6. I am here until May 25th.

He's already gone.....

They are going back home soon! So hurry up to come talk with them!!

留学体験@スノーカレッジ

私は先日約9ヶ月の留学から帰国しました。今回はその留学についていろいろご紹介します！私はアメリカのユタ州にあるスノーカレッジに行きました。スノーカレッジがあるエフライムという町はとても小さい町です。公共交通機関がないため、車を持っていない人は自力では遠出できません。ですが、エフライムの人には優しくて気さくな人が多く留学生や外国人にとってはとても過ごしやすいところです。道ですれ違う見知らぬ人に声をかけられることも珍しくありません。気候はとても乾燥しているの



で、保湿クリームが手放せませんでした。湿度が低く雨も少ないので傘を使うことはほとんどありませんでした。冬はとても寒く1日の最高気温が氷点下ということも何度かありました。

留学中の平日は基本的に朝から学校に行き、放課後は宿題をします。宿題が多い日には日付が変わるまで図書館にこもることもありました。



とはいえ、勉強ばかりしていたわけではなく、平日も校内で頻繁にイベントが開催されるのでそれに参加したり、友達とアイスクリームを食べに行ったりと日本での生活と同じようなことももちろんできます。また、週末は学校が月に1回ほど留学生のために用意してくれるショッピングツアーに参加して買い物をしたり、日本人で集まって日本食を作ったり、学校の体育館に行ってスポーツをしたりと遠出できないなりに遊んでいました。



スノーカレッジでの留学生活はとてもいい経験になりました。もちろん楽しいことばかりではありませんでしたが、現地でのいろいろな人との出会いや日本ではできないような経験を通して自分が語学力的にも人としても成長できた



ことは何よりの財産です。この経験を生かして、これからいろいろなことに挑戦していきたいです。また、自分が留学中にいろいろな人に助けってもらったように、私も日本に来た外国人の方に力を貸してあげたいです。（武本優希）



FRESHMEN WELCOME PARTY!



入学式の翌日の4月2日、今年も毎年恒例の新入生歓迎会を開催しました！

今年はカフェパンセではなく3号館の小さな教室で行ったため、狭い空間でしたがその分一人ひとりの距離が近く、全員の親睦度が高かったのではないかと思います。

入学2日目の1回生のみんなの表情にはまだ緊張が見られ、今思えばあの頃私達も友達ができるかなど不安なことばかりで心に余裕がなかったような気がします。とても懐かしい気持ちで見えていました。

歓迎会はKEALLの副会長、御前さんの「では、乾杯〜！」というシンプルな乾杯の音頭でスタートしました(笑)テーブルは基礎演習のクラスごとだったので、これから1年間授業を共に取り組む仲間と初々しく挨拶を交わし、食事を楽しむ姿がとても印象的でした。

堅い雰囲気がある程度ほぐれてきたところで、名前ビンゴゲームをしました。このゲームも毎年恒例になってきましたね！初対面の人とでも簡単に知り合え、仲良くなることのできる魔法のような

ゲームなので、止めることができなくて続けてきました・・・ご存知の通り、このビンゴのくじは「名前」です。まずはお互いに自己紹介をし、名前で空白のマスを埋めてビンゴカードを作成するところから始まります。今回は四つ角に先生方の名前、またKEALL役員にも名前を聞かなければいけないというルールを追加し、全員で賑やかに楽しみました！

KEALL役員の私たちも「すみません、名前書いてくだ

さい！」と声をかけてくれる1回生がとても可愛くて、喜んで名前を書きまくりました(〇)



今回の景品は、スターバックスのタンブラーや巨大うまい棒、ポータブル充電器などなどバリエーション豊かでした。なんと、一等賞は無印良品のいい香りの煙の出るディフューザーが二つ！女子力の高い景品なので男の子に当たったらどうしようと懸念していたのですが、見事二つとも女の子が当ててくれたので役員一同ホッとしました(*^_^*)



運良く当たった子も、残念ながら当たらなかった子も、皆さん楽しんでいただけたのではないのでしょうか。帰り際の皆さんの表情は、最初とは違いとても和やかでした。2時間半程の短い時間ではありましたが、同学年の仲間たちと少しは打ち解けられたことと思います。

これから4年間、大変なこともあるとは思いますが、その分楽しいこともたくさんあります！是非、甲南大学で有意義な時間を過ごしてくださいね♪ (足立桃子)

編集後記

3回生

足立桃子 (会長)
留学を目前に(まだ2ヶ月半ほどありますが)、自国愛が増えてきて困っています (笑) 発つ前に色々満喫しておきたいと思っています。

御前奈見 (副会長)
今年こそ、KEALLの一員として頑張ります (_ _)

武本優希
約9ヶ月の留学から帰ってきました。日本は蒸し暑くてやってられません。

佐藤文香 (会計)
部活、バイト、検定の勉強、英語、そしてKEALL全部頑張ります！♡

大谷菜都子
お久しぶりです、留学から帰ってきました！もうすぐ夏ですね。3回生はゆっくりできる最後の夏かも…？

2回生

西江日向子 (書記)
初めまして！楽しいことなんでも好きです。ダンスできます。

1回生

大谷かおる
初めまして。最近スタバデビューしました。早くバイト見つけます！！

岡本あすか
一回生の岡本です。ディズニーに行きたいです！

岡島有咲
韓国ドラマ、音楽大好きです！

藤森愛唯
初めまして。辛いもの、K-pop、ダンス、楽しい事が大好きです！！